

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【公開番号】特開2019-4695(P2019-4695A)

【公開日】平成31年1月10日(2019.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2019-001

【出願番号】特願2018-144713(P2018-144713)

【国際特許分類】

H 02 J	13/00	(2006.01)
H 02 J	3/16	(2006.01)
H 02 J	3/12	(2006.01)
H 02 J	3/18	(2006.01)
H 02 J	3/00	(2006.01)
G 06 Q	50/06	(2012.01)

【F I】

H 02 J	13/00	3 1 1 R
H 02 J	13/00	3 0 1 A
H 02 J	3/16	
H 02 J	3/12	
H 02 J	3/18	1 2 8
H 02 J	3/00	1 7 0
G 06 Q	50/06	

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月27日(2019.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータにより実施される方法であって、

複数の可能なグリッド制御行動を含む、ユーティリティグリッド上の制御に変更を加える機会を得ることと、

それぞれの可能なグリッド制御行動の効果の信頼区間を含む、前記可能なグリッド制御行動の有効性データを受け取ることと、

プロセッサを使用して、それがグリッドパラメータに基づく目標を実現しうるよう
に信頼区間が重なり合っている、複数の可能なグリッド制御行動から、前記目標を実現する見込みに基づいてグリッド制御行動を選択すること、

前記選択されたグリッド制御行動を前記ユーティリティグリッド上で実施することを含む方法。

【請求項2】

グリッド制御行動を自動的に選択するためのシステムであって、

ユーティリティグリッド制御と、

ユーティリティグリッド制御状態の探索空間を記憶するように構成された探索空間メモリと、

前記ユーティリティグリッド制御状態の効果の信頼区間を含む有効性データを記憶するように構成された知識データベースと、

前記有効性データに基づいてユーティリティグリッド制御状態を選択するように構成された制御割当てプロセッサとを備えるシステム。